	<p>JPY 13,889始まる一番お得な料 金で無料の朝食とレイトチェッ クアウト*が付いています。</p>	<p>ご予約はこちらから ▶</p> <p><small>*ご利用にあたっては諸条 件が適用されます。</small></p>
---	---	---

⚠ 重要なお知らせ

MSN コミュニティ サービスは、2009 年 2 月をもちまして終了させていただきます。MSN のオンライン コミュニティ パートナーである Multiply にコミュニティを移行できます。詳細については、こちらをご覧ください。

www. 文法レベルでの自然学会. jp

grammar@groups.msn.com

新着情報



物理論理学：言語の言語による言語のための言語

掲示板の一覧を表示

今すぐ参加

文法レベルでの自然

◀ 前の話題 次 の話題 ▶

✉ 返信を受信トレイに送信

物理論理学

宇田雄一語録

パンダ的電腦言語者

Web リンク集

ツール

返信	おすすめ	メッセージ 1 / 53
投稿者: ☺ SourceCodeOf HumanGenome (元のメッセージ)		
		投稿日時: 2005/05/28 7:43
<p>宇田の物理論理学は、端的に言うと、言語の言語による言語のための言語、というものに反対する思想です。</p>		

◀ 最初の返信

◀ 前へ


24-38 通を表示: 総返信数 53 通


次へ ▶


最新の返信 ▶


返信	おすすめ	メッセージ 24 / 53
投稿者: ☺ ダイエットパンダ0		
		投稿日時: 2008/05/19 0:26
<p>そうそう、あと、思うのですが、きょうびの物理学の命題やテーマや法則をことばで記述する際に、現状の記号論理学やらの範囲で記述可能なのでしょうか。</p> <p>新たな論理学が必要なのではないのでしょうか。 ペンローズの本でも、そのようなことが書いてあった記憶がしります。</p>		


返信	おすすめ	メッセージ 25 / 53
投稿者: ☺ SourceCodeOf HumanGenome		
		投稿日時: 2008/05/19 4:08
<p>> 話の途中で質問してもよいでしょうか・・・</p> <p>はい、もちろんです。 質問は、されると嬉しいです。</p> <p>> それぞれ独立に定義できるのでしょうか?</p> <p>出来ません。 て、この答えだけでは、素っ気なさ過ぎます。 と言うのは、ダイエットパンダ0さんの質問が素晴らし過ぎるので、その事を讃える事も必要だ、と思うからです。 この件についてのダイエットパンダ0さんの問題意識は、歴史的には、エルンスト・マッハによって初めて喚起され、論理実証主義という科学哲学における大きな潮流を生みしました。</p> <p>> きょうびの高校生向けの学習参考書は浅薄なものしかなく、 > いきなり「公式: $f=ma$」なんてでてくるようです。</p> <p>心配に成りました。ちゃんと書いてあれば良いのですが。</p> <p>> いきなり低レベルな質問でごめん下さい。</p> <p>いえいえ、高校物理で習うことになっている事項よりも哲学的には高レベルです。</p>		

返信	おすすめ	メッセージ 26 / 53
投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome		投稿日時 : 2008/05/19 4:28
<p>> そうそう、あと、思うのですが、 > きょうびの物理学の命題やテーマや法則をことばで記述する際に、 > 現状の記号論理学やらの範囲で記述可能なのでしょうか。 > 新たな論理学が必要なのではないのでしょうか。 > ペンローズの本でも、そのようなことが書いてあった記憶がします。</p> <p>きょうびの物理学というのは、 量子論です。 量子論が論理学に変更を持たらすのか否かは、 解釈によって異なり、 量子論理という解釈を推し進める学派は、 量子論は新しい論理学をもたらした、と考えます。 ペンローズはその事を言っているのでしょう。 だから、私の言っている事のどこまでが、 量子論理で既に言われているのか、確認が必要だと思っています。 出典を教えてください、有り難うございます。</p>		

返信	おすすめ	メッセージ 27 / 53
投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome		投稿日時 : 2008/05/19 22:13
<p>ここまでを振り返ってみて、 随分と話の方向性を私は変えてしまったなあ、 と感じます。 その事によって思いがけない良いアイデアも出たのですが、 ダイエットパンダ0さんが私にリクエストしたのは、 物理論理学の当初の問題意識に沿った話だったのかもしれない。 物理論理学というテーマで私が当初目指していたのは、 普通の論理学が日常経験から生活の道具としていかに編み出されるか、 環境が違えば編み出される論理学は違ったものに成るだろう といった辺りでした。</p>		

返信	おすすめ	メッセージ 28 / 53
投稿者 :  ダイエットパンダ0		投稿日時 : 2008/05/20 23:45
<p>こんばんは、SourceCode Of HumanGenomeさん、素人の私(パンダ)ですが、これだけは質問させてください。 今、図解雑学「時間論」(ナツメ社、著者は東北大学の教授の方)という本の、「時間の最小単位」なんて項を読んで て、 プランク時間なんていうことが書いてあるのですが、このくらいのミクロのレベルで、はたして、時間的な「前後関係」というの が あるのだろうか、意味をもつのだろうか、という、いかにも素朴な素人の私の疑問なのです。 クォークのレベルでは、時間的前後というのは、意味を持つのでしょうか。 波動関数というのは時間 t をパラメータにもってますが、そのくらいのオーダーだと、時間的な前後関係というのがあるの でしょうか？ マクロであれ、ミクロであれ、ものごとの振る舞いが落ち着いて平衡状態になったとき、そこに時間的前後の見境の余 地が残っているのでしょうか？ 確実な回答を求めようとはおもいません、SourceCode of HumanGenomeさんのお考えと展望をぜひ聞きたいのです。 いつも質問だけやり逃げですみませんが・・・ m(_ _)m</p>		

返信	おすすめ	メッセージ 29 / 53
投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome		投稿日時 : 2008/05/21 10:31
<p>ダイエットパンダ0さん、 ネタの提供を有り難うございます。 まず、時間の順序についてですが、 有るか無いかはともかくとして、 現行の量子論は時間のきめ細かさについて、 上限の存在を主張するものではないと考えます。 だから、 波動関数というものの本性からして時間はある程度以上にはきめ細かくないと言える、 という論法は成立しない、 と考えます。 順序について聞かれてきめ細かさについて答えましたが、 ダイエットパンダ0さんの言いたかった事は、 きめ細かさについてだと思っんですが、 違うでしょうか？</p>		

返信	おすすめ	メッセージ 30 / 53
投稿者 :  SourceCodeOf HumanGenome		投稿日時 : 2008/05/21 10:47

確かに、
平衡状態という設定は、
時間の概念や論理学が生まれない環境条件を象徴するかもしれませんが。
平衡状態という言葉は微視的には変化が起こっているものを指す事もありますので、
どういう言い方が良いでしょうか。
無変化状態とでも言いましょうか。

返信	おすすめ	メッセージ 31 / 53
投稿者: 🐼 ダイエットパンダ0		投稿日時: 2008/05/21 23:42
<p>こんばんは！(なんだか、独り疑問のコーナーになりつつすみませんが・・・)</p> <p>> 順序について聞かれてきめ細かさについて答えましたが、 > ダイエットパンダ0さんの言いたかった事は、 > きめ細かさについてだと思っんですが、 > 違うでしょうか？</p> <p>ああ、まさにそのとおりです、きめこまかさ、についてです。</p> <p>> 無変化状態とでも言いましょうか。 あつ、そうですね、平衡というよりは、「無変化状態」が適切だと思います。</p> <p>以下は素人の私の妄想なので、笑って読みとばしていただいで結構です m(_ _)m</p> <p>時間というのは、変化する物事との比較で決められていると思います。</p> <p>ものの本によれば、セシウム原子の基底軌道にある電子のスピンの向きが変わる時に発する電磁波の振動数を基準に秒とかをきめているとありますが、振動という変化があるから、時間を定められると思うので、系内で変化がない場合、時間の進行もないだろうなあと思います・・・ (朝に日が昇り、夕方に日が沈み、翌日の朝また日が登るから、日めくりカレンダーがあるので、自転周期と公転周期が同じだと、「一日」という観点はないと思います。)</p> <p>それとも、時間というのは、事象の変化とは無関係に存在して、単に変化という事象によって、量の基準量を設けたにすぎないのか・・・</p> <p>系をある程度空間的に広げて、そのどこかで変化があれば、それをもとにして、ある系を基準にした時間進行を想定できると思いますが、かなり限定された小さい系内で変化がなにもなければ、系内で独自に時間進行を規定できないような気がします。</p> <p>時間進行は、やはりマクロな観点ではじめて認識されるような気がします。</p> <p>ものの位置の変化も同様に、マクロにみれば位置変化はなめらかかもしれませんが、可能な限り切りきざんでみると、かたつむりのような連続な動きでなく、(不確定さをうちに含みながら) 一步一步位置変化しているように思われます。</p> <p>駄文にてごめんなさい。眠薬飲んで、らりつた頭が生んだ、つまらない妄想でございます・・・</p>		

返信	おすすめ	メッセージ 32 / 53
投稿者: 🐼 SourceCodeOf HumanGenome		投稿日時: 2008/05/22 8:58
<p>> (朝に日が昇り、夕方に日が沈み、翌日の朝また日が登るから、日めくりカレンダーがあるので、 > 自転周期と公転周期が同じだと、「一日」という観点はないと思います。)</p> <p>ナイスショット！</p>		

返信	おすすめ	メッセージ 33 / 53
投稿者: 🐼 SourceCodeOf HumanGenome		投稿日時: 2008/05/22 14:12
<p>真と偽の概念は、 嘘というものの発明によってもたらされた、 のではないのでしょうか。 つまり、 嘘というものは言語の使用の極めて初期の段階では存在せず、 その頃には偽という概念のみならず真という概念も考えられなかった、 とかいうことは、ないのでしょうか。 あるいは過言が先か？</p>		

返信	おすすめ	メッセージ 34 / 53
投稿者: 🐼 SourceCodeOf HumanGenome		投稿日時: 2008/05/24 19:48
<p>パソコンからです。 時間や長さの最小単位、という考えに対して、いつも思うのですが、 そのような考えは自己矛盾ではなからうか、と。</p>		


その事は、計る側と計られる側を区別することによって、分かる気がします。
 時間や空間は計る側です。
 それに対して、素粒子などの物理的実在は計られる側です。
 計られる側であるところの素粒子を特徴付ける長さが何らかの最小の長さの整数倍しか取り得ない、
 という事が、もしあったとしても、
 その事をもって、計る側であるところの長さには最小単位があって、それ以下の長さは存在しない、
 とは言えない、のではないのでしょうか。
 むしろ、物質の大きさに下限があるとしたら、
 その値は、もっと小さい長さとの比較においてしか意味を持ち得ないのではないのでしょうか。
 (↑この部分が必然ではない事に昨日気がきました。→※)
 プランク時間とかプランク長というものは、計られる側を研究する事によって得られた値だ、
 と聞いたような気がします。
 計る側である所の時空に対する量子論というものも既に研究されているらしいですが、
 それにしても、時間に最小単位がある、なんていう格好悪い結果が出た、とは聞きません。
 時間や長さの最小単位、という発想は、量子力学をヒントにすれば、出て来易く、
 湯川秀樹の素領域仮説なんかも広い意味ではそれだと思いますが、
 (論理的に不可能とまでは言えないかもしれないけれど)極めて本当っぽくない感じがします。

※最小の時間や長さというものを、日常的なスケールの大きな時間や長さの何分の一であるか、によって、
 理解する行き方は出来るかもしれません。

返信

おすすめ

メッセージ 35 / 53

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome


投稿日時: 2008/05/24 21:33

携帯からです。
 ダイエットパンダ0さんの考えからは、
 スケールが小さくなると時間や空間自体がモヤモヤして来る、
 という印象を受け、
 時間の最小単位という言葉からは、
 その値を境に突如として状況が変わる、
 という印象を受けます。
 前者は本当っぽいですが、後者は本当っぽくありません。

返信

おすすめ

メッセージ 36 / 53

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome


投稿日時: 2008/05/24 21:47

自己矛盾の件について。
 時間の最小単位はこれこれである、
 という表現自体が、
 その値よりも小さい時間の有意性を認めるものだ、
 と思います。
 たとえば、
 時間の最小単位は1.1cmだ、
 という主張について言うならば、
 この主張は、
 時間の最小単位は1cmでも1.2cmでもなく1.1cmだ、
 という意味だから、
 0.1cmという概念を排除するものではない気がします。

返信

おすすめ

メッセージ 37 / 53

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome


投稿日時: 2008/05/24 21:54

時間のきめ細かさには上限がある、
 という主張を、
 きちんと書くとすると、
 「...の長さは~cmである」式の文法の破綻を言うべきであって、
 それは、
 時間には最小単位がある、
 という主張とは根本的に異なるだろう、と思います。

返信

おすすめ

メッセージ 38 / 53

投稿者:  SourceCodeOf HumanGenome

投稿日時: 2008/05/25 14:35

私が提案いたしております量子論に対する新文法は、
 量子歴史は一般には時間方向にもつれていて、
 と主張するものでして、
 これは、ある意味、
 ダイエットパンダ0さんの言う、
 極短の時間スケールでは時間の前後関係がウヤムヤになる、
 という内容を含みますが、
 これは、あくまで、計られる側についての話であって、
 計る側についての話ではありません。
 計る側、つまり時間空間自体については、
 私が提案するのは、幕級層時空文法です。

◀ [最初の返信](#) ◀ [前へ](#) 24-38 通を表示 : 総返信数 53 通 [次へ](#) ▶ [最新の返信](#) ▶

◀◀ [物理論理学に戻る](#) ◀ [前の話題](#) [次の話題](#) ▶  [返信を受信トレイに送信](#)

注意 : Microsoft は、このコミュニティの内容について、一切の責任を負いません。ここをクリックすると、詳細情報が表示されます。

家族のインターネット MSN プレミアムウェブサービス

[MSN ホーム](#) | [Hotmail](#) | [ニュース](#) | [ショッピング](#) | [マネー](#) | [スペース](#)

[ご意見ご感想](#) | [ヘルプ](#)

©2006 Microsoft Corporation. All rights reserved. [使用条件](#) [プライバシー](#) [迷惑メール対策](#)